

市議会での取り組み

～ 一般質問 ～
(平成31年3月・令和元年6月・9月議会)

2019年3月・6月・9月 市議会での質問! こんな質問を行いました。

◆主な質問



《 令和元年9月 》 一問一答60分

ライフライン共通
プラットフォームによる
暮らしの質の向上
について

学校健診情報の
活用について

歩くライフスタイル戦略
(トヤマ・スマートライフ
ポイント事業)
について

令和元年9月ネット中継



都市景観の
適正化推進
について

釣り人の
安全等について

《 平成31年3月 》 一問一答60分

認知症
について

「薬都とやま」
振興について

障がい
を抱える方への
支援について

《 令和元年6月 》 一問一答60分

防災対策
について

子どもを
取り巻く環境
について

歩いて暮らせる
まちづくり
について

平成31年3月ネット中継



令和元年6月ネット中継



- 令和元年9月～現在
 - ・富山市監査委員
- 平成31年4月～現在
 - ・厚生委員会・委員長
 - ・予算決算特別委員会・厚生部会部会長
 - ・議会運営委員会・委員
 - ・議会改革検討調査会・委員
 - ・政務活動費のあり方検討委員会・委員
 - ・自由民主党富山市連遊説局・副遊説局長
 - ・北朝鮮に拉致された日本人を早期に救出するために行動する議員連盟・理事
- 平成29年4月～平成31年4月
 - ・商工農林水産委員会・副委員長
 - ・議会改革検討調査会・委員
 - ・議会報編集委員会・委員
 - ・土地開発公社・理事
 - ・29年度企業会計決算特別委員会・委員
 - ・28年度一般会計特別会計決算特別委員会・副委員長
 - ・自由民主党会派・会計
 - ・北朝鮮に拉致された日本人を早期に救出するために行動する議員連盟・理事
 - ・自由民主党富山市連遊説局・副遊説局長
- 平成28年11月～29年4月
 - ・自民党新風会・会長
 - ・議会運営委員会・委員
 - ・総務文教委員会・委員

富山市議会議員
自由民主党

たかた まり No.11



～ ころ豊かな 思いやりのある 社会を目指して ～

2016年11月富山市議会議員補欠選挙に当選させていただいてから、まる3年となりました。
この間、常に頭においてきたことのひとつが、失った富山市議会の信用回復。ところが、政務活動費問題に加え、新たな問題も発覚し、またしても「富山市議会」が全国から注目される事態に…。市民の皆様申し訳なく、心からお詫びを申し上げる次第です。

議員には、市民の立場に立った政策は応援し、そうでないものには厳しく追及する役目があります。皆様が納めた税金が効率的に、公正に使われているかのチェックにも取り組んでいます。
もう一つ、皆様からの要望や想いをしっかりと市当局につないでいくことも、私の大切な仕事でございます。今後も皆様の声をお届けください。

～初心 忘るべからず～

がんばる人を支え、やる気のある人を後押しし、弱っている人をみんなで助け合う。
がんばっても頑張ってもどうしようもなく困っている人は、政治のチカラが必要と思っています。
すべての皆さまが

笑顔で ころ穏やかな毎日を過ごせるよう これからも初心を忘れず 取り組んでまいります。



◆富山市議会議員 高田真里
TEL:076-464-3907 FAX:076-464-3908
E-mail: toyama@takatamari.com

・紅葉ガ丘幼稚園卒園
・安野屋小学校卒業
・芝園中学校卒業
・富山東高校卒業
・税務大学校卒業

国家公務員(税務署)
保険・金融
税理士事務所
webコンサルタント

2019年3月・6月・9月一般質問（一部抜粋）

①質問・・・認知症対策について

私たちが今、豊かな生活ができているのは、先人や高齢世代の方々が一生懸命頑張ってくれたおかげであります。何歳になっても安心して機嫌よく毎日を過ごせるような施策が必要と考えます。

●事故救済制度などの賠償責任保険も含め、今後の認知症高齢者に対する取り組みについて？

これまで、認知症高齢者見守りネットワークの構築や認知症高齢者徘徊SOS緊急ダイヤルの運用、認知症初期集中支援チームの設置などを行ってきました。また平成30年度からは、ICT活用認知症高齢者捜索支援事業を中心に市街地においてモデル実施しており、平成31年度には徘徊SOS緊急ダイヤルシステムとの連携を構築するとともに、認知症高齢者徘徊SOSネットワーク模擬訓練を実施するなど事業拡大を図る予定としています。今後さらに、他人にけがを負わせたり、他人の財物を壊すなど、法律上の損害賠償責任を負う場合に備え、市が契約者として個人賠償責任保険に加入する「認知症高齢者等おでかけあんしん損害保険事業」を始めたいと考えています。（福祉保健部長）

②質問・・・薬都とやまの振興について

富山に生まれ育った私たちには、利益主義経営だけではない心のコミュニケーション、信用に基づく経営が根づいており、それがシビックプライドにもなっていると感じています。子どもたちが郷土の歴史を学ぶ上で、家庭薬配置業から学ぶことは偉大であり、欠かせないものと思っています。

●小中学生への「くすりの富山」に関する教育について？

平成32年度から小学校5年生の社会科を中心に、富山の伝統的な主要産業の一つである薬業に関する副読本を作成しており、これを活用することで、児童が富山のくすりや薬に関わる仕事への理解を深めるとともに、ふるさとへの誇りや愛着を育み、将来の本市での職業選択にも寄与することを目的としています。また、県外の方に富山のくすりのことについて質問されたとき自信を持って説明できるようになるなど、シビックプライドの醸成にもつながることを期待しています。（教育長）



③質問・・・障害者就労施設等からの優先調達について

男性でも女性でも、年齢に関係なく、障がいがあってもなくても、誰もが活躍し輝ける富山市を目指して、そのために市当局も議員も力をあわせていきたいと思っています。障がいを抱える方々の経済的自立に向けた生活支援を目的に、公的機関が優先的・積極的に、①分野を限定することなく、②施設等の受注の機会の増大を図るため、障害者就労施設から物品や業務を発注すべきであると思います。

写真で見る活動



●昨年度の実績を比較すると同じ中核市の金沢市でおよそ2.7倍、豊田市では14倍であり、優先調達についてまだまだ拡大の余地があるのではないか？

今年度は年度当初に部局長会議で協力をお願いしたこともあり、前年度の倍以上の額を超える見込みとなっています。また市の指定管理や委託事業など実績にあらわれないものの発注などもございます。障害者に対します就労支援は、経済的な側面だけでなく、自立や社会参加、生きがいづくりにつながる重要なことですので、引き続き、障害者就労施設等からの優先調達を推進しながら、地域における自立生活を支援してまいりたいと考えております。（福祉保健部長）

④質問・・・児童養護施設における入所児童の自立支援について

児童養護施設への入所の経緯はそれぞれにあると思いますが、どんな思いで入所してきたのか、施設の方々と信頼を築いたとしても18歳で独立となり、その時をどんな思いで迎えるのか、そこにかかる思いはどれだけいたしても十分とはいえないと思います。

●児童養護施設の退所者への支援について？

退所年齢を迎える準備として、生活備品一式を備えている施設内の自立訓練の部屋を使用し、自炊や戸締りなど、ひとり暮らしの体験や計画的な金銭管理の教育など、退所後の自立に向けた支援を行っています。また退所後のアフターケアにつきまちは定期的な連絡や訪問を行い、さらには必要に応じて進学先や就職先などと連絡をとることで近況確認を行うほか、退所後も24時間体制で施設に相談できることを伝え、アドバイスを行うなど社会から孤立しないよう継続して支援を続けております。（こども家庭部次長）
今朝、報告を聞きましたが、退所された方が退所後に、後輩にがんばれよと、何人も訪問していた…素晴らしいことだと思います。富山愛育園の見守っている人、指導している人、園長を含めみんなが、いかに情熱をこめて愛情をこめてやってきているかということだろうと思います。（市長）

⑤質問・・・スクールロイヤーについて

平成29年12月にも一般質問した案件です。増加している虐待事件のなかで、千葉県野田市の小学4年生が「助けて」と書いたSOSのアンケートは、父親の威圧的な態度に屈して手渡されてしまい最悪の結果となりました。学校が法的アドバイスを必要な時に受けられるよう、スクールロイヤーなど専門家の配置が必要と考えます。

●本市でもスクールロイヤー制度を導入すべきと考えるが見解は？

これまで市の法務専門監との連携により、学校が法的な裏付けを得て自信を持って対応できるようになるなど成果が見られたことから、今後、体制の一層の充実・強化を図るため、スクールロイヤー制度の導入が必要と考え、富山県弁護士会と協議を進めているところであり、可能な限り速やかに実施できるよう努めます。（教育委員会事務局長）

⑥質問・・・歩くライフスタイル戦略について

富山市は、公共交通を軸としたコンパクトなまちづくりを推進しています。健康増進にもつながる「歩いて暮らせるまちづくり」をさらにすすめるうえで、ベンチの普及や歩く施策の充実が必要と考えます。

●健康面、賑わい創出面でもプラスになる「歩く」を推進する上で、ベンチの設置に取り組んではどうか？

議員から紹介のあった福岡市のベンチプロジェクトは大変参考になる事例であり、今後、本市におきましても地域や企業などと連携しながら、市が所有する土地や民有地においてベンチを設置することについて検討してまいります。（活力都市創造部長）

●歩くきっかけづくりの一つとして新しくアプリ導入を検討されているが、他都市や県との違いや本市の特徴は何か？

歩くことのみならず、公共交通を利用した場合やイベントに参加した場合などにもポイントが付与され、そのポイントに応じて、抽選などにより多彩な賞品を贈呈するものであり、市民が街を楽しみ、歩いて健康になるスタイルを実践する一つのきっかけになる取り組みとして始めるものです。健康増進はもとより、公共交通の利用促進やまちの賑わい創出、コミュニティの活性化など健康づくりとまちづくりが融合した取り組みが特徴です。特に公共交通を利用した際、自動的にポイントが付与される仕組みは全国でもほかに例がないものであります。（活力都市創造部長）



後援会への「寄附金」をお願いいたします。

◆1口2,000円からの受付となります。

- 政治資金規正法により、匿名・企業・団体による寄附は認められておりません。寄附はすべて個人名でお願いします。
- 年間5万円を超えて寄附くださった方は、政治資金規正法第12条に基づき寄附者の氏名、金額、住所、職業が政治資金収支報告書に記載され公表されます。
- 「たかたまり後援会」へのご寄附は寄附金控除の対象となりません

お振込み口座のご案内

富山銀行 諏訪川原支店

- 口座番号 普通 3011427
- 口座名義 たかたまり後援会

※恐縮ですが振込手数料はご負担願います。



たかたまり公式ホームページ
<https://takatamari.com>



Facebook 高田真里
<https://www.facebook.com/mari4055>
たかたまり後援会
<https://www.facebook.com/takatamari4055>